

第6学年 国語科学習指導案

(1) 単元名 感動の中心をとらえよう

「海のいのち」(東京書籍6年)

他「山のいのち」(ポプラ社)

「木のいのち」「田んぼのいのち」「街ののち」(くもん出版)

「天とくっついた島」(河出書房新社)

(2) 単元の目標

- 物語が自分に最も強く語りかけてきたことを短い言葉でまとめることができる。

(3) 単元の評価規準

- 物語が自分に最も強く語りかけてきたことをまとめ、考えを伝え合うことに意欲的に取り組もうとしている。 [国語への関心・意欲・態度]
- 物語の山場で起きる人物の心情の変化を読み取り、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考えながら読んでいる。 [読む能力]
- 物語が自分に最も強く語りかけてきたことを友達と伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 [読む能力]
- 物語が自分に最も強く語りかけてきたことを文章にまとめたり、短い言葉で表したりしている。 [書く能力]
- 大事な言葉や表現の工夫などに気付き、物語が強く語りかけてきたことを考える手掛かりにしている。 [言語についての知識・理解・技能]

(4) 単元と言語活動の関わり

本単元では、物語が自分に語りかけたことを短い言葉でまとめ、話し合い、それを本の紹介カードにする言語活動を設定した。活動を行うためには、これまで学習したことを生かし、物語の内容を十分理解したうえで、自分の感動の中心をとらえることが必要となる。また、短い言葉でまとめるためには、自分の思いや考えに適した言葉を選んで表現する力が必要になる。

本単元の重点指導事項は、学習指導要領におけるC読む(1)エ「登場人物の相互関係や心情、場面について描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」である。児童は、これまでの学習において、「中心となる人物の心情や行動の変化」や「物語の山場を考える」など、さまざま学習をしてきた。そこで、本単元では、これまで学習してきた読む力を総合的に生かしながら、中心となる人物の心情の変化とその理由を読み取り、自分が物語から受ける感動の中心をとらえて表現する力をつけることをねらいとした。

本単元の主となる教材文「海のいのち」は、中心となる人物・太一が、父や与吉じいさなど周りの人物との関りを通して成長していく物語である。太一をはじめ、「海」で生きるそれぞれの人物像をとらえさせ、人物と人物との関係を手掛かりに山場での太一の心情の変化とその理由について考えさせたい。また、題名である「海のいのち」は、作品の主題に関わる言葉である。「海のいのち」とは何を意味するのか、物語の展開を追いながら、太一の心情の変化を踏まえて考えることができる教材である。また、発展的な学習では、立松和平著の「山のいのち」「川のいのち」等の「いのちシリーズ」を扱う。「いのちシリーズ」は、人間や動物・植物の生と死、そしてそれ

をきっかけに主人公が成長する姿がいきいきとした描写で描かれており、本単元の主教材と強い関連がある。そのため、命についてより多面的に考えたり、著者が命についてどのように考えているか考えたり、主教材と比較して読んだりできる教材である。また、児童と同世代の子どもが主人公となり、成長していく様子が描かれている作品も多く、登場人物の心情を捉えることで、自分の生き方と重ねたり、考えたりしやすい教材である。

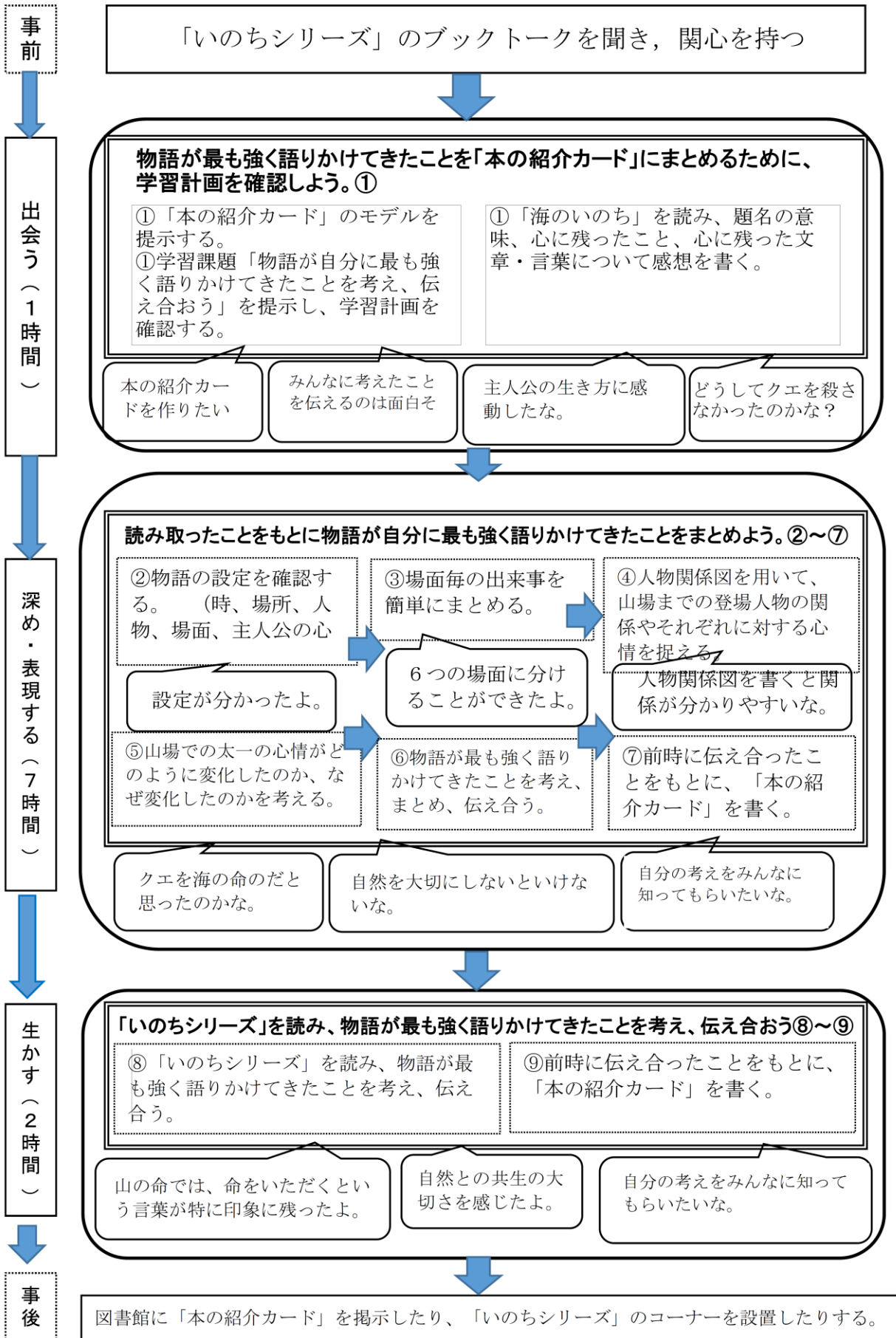
児童はこれまでに、5年生の「注文の多い料理店」の学習において、物語の構成や表現の工夫を見付けて作品の良さを捉えることを経験している。また、6年生の「風切るつばさ」では、人物と人物との関係を手掛かりに、中心となる人物の心情の変化をとらえることを学習した。本単元においても、物語の中の中心人物がどのような関係であるか、互いに対してどのように思っているのかを押さえ、中心となる人物「太一」の心情の変化を考えさせたい。

指導に当たっては、児童が主体的に読み進めることができるような学習過程を考えた。

学習過程	内 容
事 前	「いのちシリーズ」のブックトークを行い、学習への関心・意欲を高める。
出会う	「本の紹介カード」のモデルを提示しながら、物語が自分に最も強く語りかけてきたことなどを伝え合い、「本の紹介カード」を作ることを伝える。また、学習のスケジュールやゴールを示すことで、学習への意欲を高めたり、見通しを持ったりすることができるようにする。
深め・表現する	教材文「海のいのち」を読み、学習のてびきをもとに、「場面設定」「文章の構成（前説、展開、山場、クライマックス、後述）」「人物の関係」「主人公の変化」などを丁寧に読み取っていく。その際、場面毎に大まかな内容をまとめたり、人物関係図を作成したり、主人公の心情の変化やその理由を、叙述をもとに確認したりすることで、内容を正しく読み取り、自分の考えが持てるように支援していく。そして、読みとったことをもとに、物語が最も強く自分に語りかけてきたことなどを伝え合い、それを「本の紹介カード（1回目）」にまとめていく。
生かす	教材文「海のいのち」で学んだ文章の読み方を生かして、「いのちシリーズ」の文章を読み取っていく。その際、ペア・グループ学習を取り入れ、友だちの読み取りの良さに気付いたり、互いにアドバイスをしたりすることで、個々の読み取りや考えがよりを深まるようにしていく。そして、読みとったことをもとに、物語が最も強く自分に語りかけてきたことなどを伝え合い、それを「本の紹介カード（2回目）」にまとめていく。2回目の「本の紹介カード」は、図書館に掲示したり、「いのちコーナー」を設置したりすることを確認し、目的意識や相手意識をもつことで、分かりやすく伝えるための工夫も意識させる。
事 後	「本の紹介カード」を図書館に掲示したり、「いのちシリーズ」を集めたコーナーを設置したりすることで、達成感や満足感、今後も進んで読書をしようとする意欲を高めるようにする。

本時は、「生かす」過程の1時間目である。これまでの学習をもとに、事前に決めておいた「いのちシリーズ」の本を読んで考えたことや感じたことを同じ本を読んだ友達と伝え合い、自分の考えをより広げたり、深めたりしていく。その際、伝え合う場・見直す場を設定し、互いの考えや読み取りのよさに気付くことで、自分の考えを広げ、深めることができるようにしたい。

(5) 単元構想



学習課題
 主な学習活動
 子どもの思い

(6) 指導と評価の計画 (全10時間)

学習過程	学 習 活 動	学習活動における評価規準 (評価方法)
事前	「いのちシリーズ」のブックトークを聞き、「いのち」をテーマとした本に興味を持ち、紹介された本を読む。	
出会う	①「本の紹介カード」のモデルを提示する。 学習課題「物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考え、伝え合おう」を提示し、学習計画を確認する。 ①「海のいのち」を読み、題名の意味、心に残ったこと、心に残った文章・言葉について感想を書く。	(関) 「本の紹介カード」のモデルから、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考え、伝え合うために、どんな学習が必要かを考えている。 (観察・発言) (関) 「海のいのち」を読み、意欲的に感想を書いている。(感想・発言)
深め・表現する	②物語の設定を確認する。 (時、場所、人物、場面、主人公の心情の変化)	(読) 物語の設定を理解している。 (発言・ワークシート)
	③場面毎の出来事を簡単にまとめる。	(読) 場面毎に出来事を簡単にまとめている。(発言・ワークシート)
	④人物関係図を用いて、山場までの登場人物の関係やそれぞれに対する心情を捉える。	(読) 太一と登場人物の関係や心情を叙述から読み取り、人物関係図にまとめている。(発言・ワークシート)
	⑤山場での太一の心情がどのように変化したのか、なぜ変化したのかを考える。	(読) 人物と人物の関係や表現の工夫を手掛かりに、心情の変化やその理由について考え、まとめている。 (発言・ワークシート)
	⑥物語が最も強く語りかけてきたことを考え、まとめ、伝え合う。 ⑦前時に伝え合ったことをもとに、「本の紹介カード」を書く。	(読) 太一のその後の生き方や物語全体を通して、物語が強く語りかけてきたことをまとめ、伝え合っている。 (発言・ワークシート) (書) 物語が最も強く語りかけてきたことを文章にまとめたり、短い言葉で表したりしている。 (本の紹介カード)
生かす	⑧「いのちシリーズ」を読み、物語が最も強く語りかけてきたことを考え、伝え合う。	(読) 太一のその後の生き方や物語全体を通して、物語が強く語りかけてきたことをまとめ、伝え合っている。 (発言・ワークシート)
	⑨前時に伝え合ったことをもとに、「本の紹介カード」を書く。	(書) 物語が最も強く語りかけてきたことを文章にまとめたり、短い言葉で表したりしている。 (本の紹介カード)
事後	図書館に「本の紹介カード」を掲示したり、「いのちシリーズ」のコーナーを設置したりする。	

(7) 本時の学習

①ねらい 「いのちシリーズ」を読み、あらすじ、心に残った文章や言葉、主題、感想を伝え合い自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

②本時の流れ (8 / 10)

時間	主な学習活動 (○) と予想される児童の反応 (・)	教師の支援 T 1 / T 2 (・)、評価 (☆)
5	<p>(1) 本時までの学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海のいのちを読み、最も強く語りかけてきたことを短い言葉でまとめた。 ・海のいのちの「本の紹介カード」を作った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までにまとめたワークシートや「本の紹介カード」を提示する。 ・海のいのちの「本の紹介カード」を提示し、本時までの学習を想起できるようにする。
<p>めあて：「いのちシリーズ」を読み、あらすじ、心に残った文章や言葉、主題、感想を伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりする。</p>		
10	<p>(2) 学習の進め方を確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①事前に書いておいたワークシートを見直したり、付け加えたりする。 ②あらすじを伝え合う。 ③心に残った文章や言葉を伝え合う。(理由も) ④心に残った文章や言葉をもとに、最も強く語りかけてきたこと(主題)を伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分がそのように考えた理由を伝え合う。(叙述や人物の言動や心情をからめて考える) ⑤物語を読んだ感想を伝え合う。 ⑥互いの考えを取り入れながら、②③④⑤を見直したり、付け加えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを確認し、見通しを持って活動ができるようにする。 ・ワークシート(本の紹介カード)を準備する。 ・ペアやグループで自分の考えを伝え合う場を設け、自分の考えがより深まるようにする。
	<p>(3) あらすじ、心に残った文章や言葉、主題、感想を伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ワークシートを見直したり、付け加えたりする。 ②あらすじを伝え合う。 ③心に残った文章や言葉を伝え合う。(理由も) ④心に残った文章や言葉をもとに、最も強く語りかけてきたこと(主題)を伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分がそのように考えた理由を伝え合う。(叙述や人物の言動や心情をからめて考える) ⑤物語を読んだ感想を伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に児童のワークシートを読み、予め支援内容を考えておく。 (①) < T 1 / T 2 > ・指導者が予め大切な言葉や文章を幾つか考えておき、必要に応じて、児童に提示する。(①) < T 1 / T 2 > ・理由をより詳しく書いたり、叙述をもとに考えたりできるよう助言する。 (①) < T 1 / T 2 > ・メモを取ったり、相手に質問をしたり感想を言ったりするように助言する。 (②③④⑤) < T 1 / T 2 > ☆ (読) 物語を読み、あらすじ、心に残った文章や言葉、主題、感想を伝え合い、自分の考えを広げたり、深めたりしている。(ワークシートのメモ、発

35		表へ質問・感想)
40	<p>(4) 互いの考えを取り入れながら、②③④⑤を見直したり、付け加えたりする。</p> <p>○ワークシートを見直したり、付け加えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらすじを見直し、修正したり、付け加えをしたりする。 ・心に残った文章や言葉、その理由を見直し、修正したり、付け加えをしたりする。 ・心に残った文章や言葉をもとに、最も強く語りかけてきたこと(主題)、その理由を見直し、修正したり、付け加えをしたりする。 ・物語を読んだ感想を見直し、修正したり、付け加えをしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートにメモしたことや友達の考えや感想をもとに、自分の考えをより広げ、深めていくよう助言する。 <T1/T2> ・個別に記述内容を確認しながら支援する。<T1/T2> ・ペアやグループの相手の話を聞いて、自分に近い意見やいいと感じた意見や自分では考えなかった意見を参考にしよう助言する。 <T1/T2> <p>☆(読) 友達の考えを取り入れながら、自分の考えを広げたり、深めたりし、短い言葉にまとめている。 (ワークシート)</p>
45	<p>○まとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いに伝え合うことで自分の考えが深まった。 ・友達の意見を聞いて、なるほどと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループでの活動の良さについて意識できるようにする。 ・次時は他のペアやグループで伝え合うことを伝える。

③本時の評価

	十分満足できる	おおむね満足できる	支援を必要とする 児童への指導の手立て
読むこと	「いのちシリーズ」を読み、あらすじ、心に残った文章や言葉、主題、感想を積極的に伝え合い、友達の考えを取り入れながら自分の考えを広げたり深めたりしている。	「いのちシリーズ」を読み、あらすじ、心に残った文章や言葉、主題、感想を伝え合い、友達の考えを取り入れながら自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と相談をしながら、自分の考えを広げたり、深めたりできるようにする。 ・ペアやグループの相手の話をよく聞き、自分に近い意見やいいと感じた意見を参考にしよう助言する。

④研究の視点

- 言語活動として、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを短い言葉でまとめて友達と伝え合い、「本の紹介カード」作りを設定したことは、学習意欲を高める上で有効であったか。
- [生かす過程] で、ペアやグループで話し合う活動を取り入れたことは、友だちの考えや読み取りの良さに気付き、自分の考えを深める上で有効であったか。